

保証書

型 名		No.1375 オイルパンタグラフジャッキ		
保証期間		1年間	☆お買上げ年月日	年 月 日
☆お客様	ご住所	〒 TEL () -		
	ご氏名	ふりがな 様		
☆販売店	住所・店名 TEL			

☆この度は、弊社ジャッキをお求めいただきありがとうございます。本機は厳重な検査を行い高品質を確保していますが、取扱説明書・本体注意ラベルに従っての正常なご使用において万一、故障が発生したときはお買上げの日より1年間は無償修理致します。この取扱説明書は保証書を兼ねていますので大切に保存してください。修理に際しては、機種・購入年月日・故障状況などの内容を詳細にして、お買上げ店又はメーカーまでお申しつけください。

- 取扱説明書・本体注意ラベルに従っての正常な使用状態で、保証期間中に故障した場合には、商品と本書をご持参ご提示の上お買上げ店又はメーカーにご依頼ください。
- 保証期間中でも二次的に発生する損失の補償および、下記のような場合には、有料修理になります。
 - 使用上の誤りあるいはメンテナンス・保管等の義務を怠ったために発生した故障及び損傷。
 - 不当な改造や修理による故障および損傷。
 - お買上げ後の移動、落下などによる故障および損傷。
 - 指定された純正部品を使用されなかった時に起因する故障。
 - 火災、塩害、ガス害、地震、落雷、および風水害、その他天災地変あるいは外部要因による故障および損傷。
 - 本書のご提示がない場合。
 - 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。

●ご転居の場合は事前にお買上げ販売店にご相談ください。

- 本書は日本国内においてのみ有効です。

※なお、保証の要否は、大変勝手ながら弊社に於いて判断させていただきますのでご了承ください。

●この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明な点がある場合は、お買上げの販売店又はメーカーにお問い合わせください。

大橋産業株式会社

〒570-0033 大阪府守口市大宮通3丁目1番14号

TEL06-6996-2631 (お問い合わせ先)

BAL

No.1375

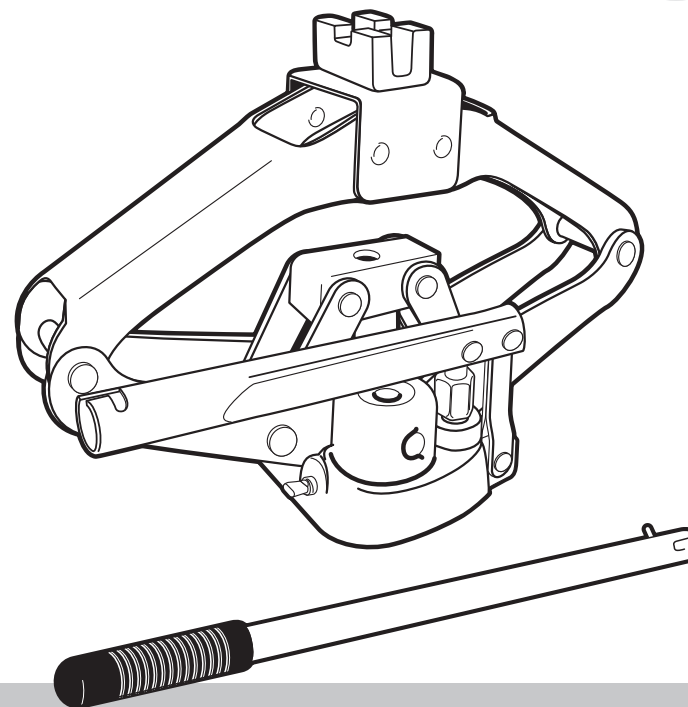
オイルパンタグラフジャッキ

取扱説明書

保証書付

最大荷重

1トン用



必ずご使用前、本文に出てくる危険・警告・注意表示を詳しく読み、よく理解して正しくご使用ください。なお、この取扱説明書には保証書がついております。大切に保管してください。

いつでも使用できるように大切に保管してください。

この取扱説明書では「危険」「警告」「注意」について次のような定義と警告表示を使用しています。警告表示は安全作業のために重要な事柄です。人身事故や財物損害防止のための重要な事項が記載されていますので、必ずよく理解してからご使用ください。



この表示を無視したり取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。



この表示を無視したり取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視したり取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う可能性、或いは物的損傷が発生すると想定される内容を示しています。

■その他の表示

重要

この表示の記載内容は、ご使用になる上で非常に重要な内容を表していますのでジャッキをご使用になる前に必ずお読みください。

安全にお使いいただくために

■使用目的

本製品は車両の一車輪をジャッキアップしてタイヤ交換、タイヤチェーン脱着を行うために、ジャッキアップまたはジャッキダウンさせる目的で使用するジャッキです。

■使用上の注意 重要



- ジャッキを設置する際は、使用中に絶対にジャッキが外れない部分に設置してください。ジャッキアップしている対象物を破損させたり、対象物が落下するなどの危険性があります。
- ジャッキアップした車体の下へ手、足、身体を入れないでください。ジャッキアップした状態のまま保持させる場合は、必ずジャッキスタンドを使用してください。



- 取扱説明書をよく読み充分理解した上で使用してください。本書には重要警告事項の説明が記載されています。警告に従わずに使用した場合、重大な事故につながります。
- ジャッキを改造したり本来の用途以外の目的で使用しないでください。
- 自動車をジャッキアップおよびジャッキダウンする際は自動車の下に人や物などがいないことを確認してから作業を行ってください。
- ジャッキに異常が発生した場合（オイル漏れ、フレーム変形など）、使用を中止して、異常箇所の修復を完全に行うまでジャッキを使用せず、直ちに販売店または弊社までご連絡ください。そのままご使用になった場合、重大な事故につながる危険性があります。
- オーバーロードバルブ（安全弁）は出荷時、安全荷重に調整されていますので、調整などは絶対にしないでください。



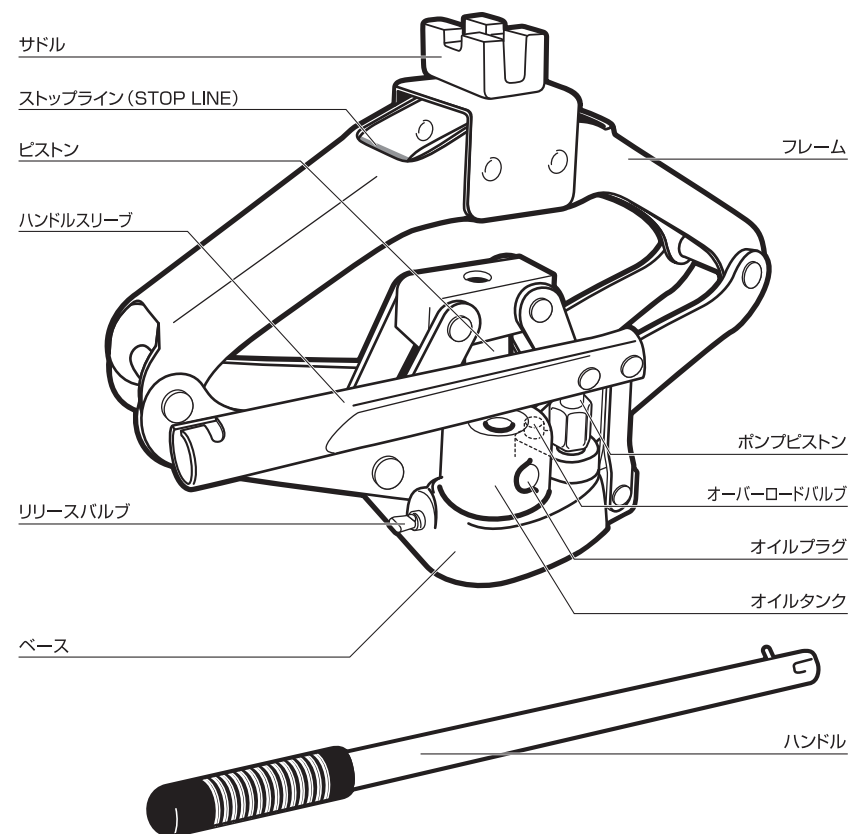
警告

- 本製品でジャッキアップする際は、必ず事前にパンタグラフジャッキ用のジャッキポイントの位置を確認してください。（ジャッキポイントの位置は車種によって異なりますので、詳しくは自動車メーカーへお問い合わせください。）
- ジャッキの2台以上の同時使用はしないでください。
- ジャッキの持ち運びやジャッキダウンする際に、フレームなど可動部分で指などを挟まないようにしてください。
- 本製品の能力（1t）以上の負荷で使用しないでください。
- 必要以上に対象物をジャッキアップしないでください。
- 本製品は-10℃～60℃の範囲の温度環境で使用してください。



注意

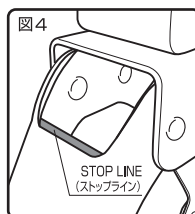
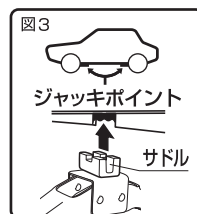
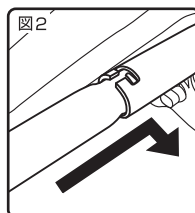
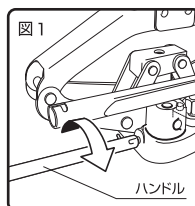
各部の名称



使いかた

■ジャッキアップ

- 1) 平坦で堅い路面にジャッキを置き、ジャッキポイント*の位置を確認してサドルをセットしてください。※ジャッキポイント:車体下部にあるジャッキのサドルを当てるための最適な箇所(ジャッキポイントは車種によって異なりますので自動車に添付のマニュアルや自動車メーカーに確認するなど、事前に確認してください。)
- 2) ハンドルの先端をリリースバルブに差し込み、ハンドルを時計方向に回してリリースバルブを締めます。(図1参照)※リリースバルブの締め付けが不十分な場合、ジャッキアップしなかったり下がってきたりしますので、しっかりと締めてください。
- 3) ハンドルをハンドルスリーブへ差し込んでください。※操作中にハンドルが抜けないように、ハンドル先端の突起がハンドルスリーブの溝に正しくセットされているか確認してください。(図2参照)
- 4) ハンドルを上下に動かして徐々にジャッキアップし、車体のジャッキポイントにジャッキのサドルの溝が正しくセットされているか確認してください。(図3参照)
- 5) 確認後ハンドルを上下一杯に動かして、目的の高さまでジャッキアップしてください。※赤いSTOP LINE(ストップライン)が見えたらジャッキアップを停止してください。(図4参照) **ラインを超えてジャッキアップするとジャッキポイントの破損やジャッキ横転による車両落下の危険性があります。**



⚠ 警告

●傾斜地や地面が軟弱な場所、および平坦でない場所では使用しないでください。ジャッキが傾いたり、サドルが外れて自動車が落下し使用者が死亡したり重傷を負う危険があります。また傾斜地ではジャッキアップ中に自動車が動き出して重大な事故につながります。

⚠ 注意

- 荷物や人を乗せたままでジャッキアップしないでください。
- エンジンをかけたままでジャッキアップしないでください。
- ジャッキアップは自動車のサイドブレーキをかけて、シフトはロー(A/T車は【P】パーキング)の位置で行ってください。
- ジャッキアップする際は、必ずタイヤストッパーなどの車輪止めを使用してください。
- ハンドルの上下操作は、ハンドルをしっかり握って操作してください。ジャッキに異常が発生した場合、ハンドルがはね上がったり、急に操作が軽くなることがあり、ケガをする可能性があります。
- 自動車メーカーの指定するパンタグラフジャッキ用のジャッキポイント以外ではジャッキアップしないでください。車体に変形したり、荷重バランスの崩れにより重大な事故につながります。
- 電子制御サスペンション車は、必ず車の取扱説明書を確認してから作業を行ってください。

■一定の高さで保持する場合

ハンドルの上下動作を停止すると、サドルが自動車を保持したままの状態になります。

⚠ 危険

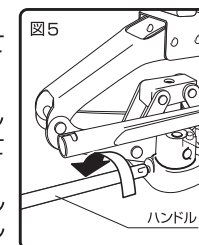
- ジャッキアップした状態のまま車体の下には絶対に入らないでください。車体の下に入って作業をする場合は必ずジャッキスタンドなどを使用してください。
- ジャッキアップした状態のまま自動車を移動させたり、車体に衝撃を与えないでください。

⚠ 注意

- ジャッキアップ作業中は、リリースバルブに触れないでください。
- ジャッキアップ作業をしないときは、ハンドルをハンドルスリーブから取り外してください。

■ジャッキダウン

ハンドルの先端をリリースバルブに差し込み、反時計方向にゆっくりと回してください。リリースバルブが緩み、サドルが下降します。(図5参照)



⚠ 危険

- リリースバルブを急激に緩めないでください。サドルが急激に降りるため、自動車が落下し使用者が死亡したり重傷を負う危険があります。

⚠ 注意

- サドルに荷重がかからなくなるとその位置からサドルは降下しません。足やハンドルなどで押さえてサドルを下げてください。
- ジャッキダウンする際に、フレームなど可動部分で指を挟まないように注意してください。
- 故障の原因になりますので、**リリースバルブは完全に締めた状態から1回転以上緩めないでください。**オイル漏れや故障の原因になります。

■作業が終了したら

作業が終了したら、サドルや製品本体、可動部分などに付着した泥、オイル、グリース、水滴などの汚れをきれいにふき取ってください。

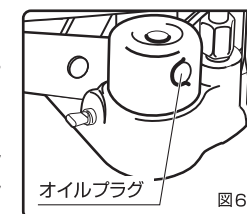
メンテナンス

■ジャッキのお手入れ

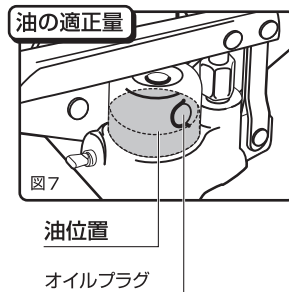
- 1) ジャッキを使用しないときは錆などによる動作不良を防止のため、ピストンおよびポンピストンを最下位の位置に下げてください。
- 2) ジャッキは常に清潔にして、可動部分に時々注油してください。
- 3) オイルの量を定期的に確認し、オイルの量が減少している場合は、適量を補充してください。(下記ジャッキオイルの補充および交換 参照)
- 4) 頻繁にご使用になる場合や長期保存の場合は、最良の状態を保持するために約1年ごとにジャッキオイルを交換してください。(下記ジャッキオイルの補充および交換 参照)
- 5) 保管する際は、錆や動作不良などの故障の原因になりますので、雨や雪がかかる場所や湿度の多い場所には保管しないでください。

■ジャッキオイルの補充および交換

- 1) オイルプラグをプライヤーなどで外して(オイルプラグを挟みながら引っ張ると外れます)リリースバルブを緩めます。(図6参照)
- 2) オイルプラグの穴を下に向けて、古いオイルを排出してください。
- 3) ほぼ完全にオイルを排出した後にジャッキオイル(純正ジャッキオイル ISO VG10)をオイルプラグの穴に注入してください。またオイル注入中にゴミなどが入らないように注意してください。



- 4) ジャッキオイルの適正量は、ジャッキを水平な場所へ置き、ピストンおよびポンプピストンを最下位まで下げた時の、オイルプラグの位置までです。(図7参照)
- 5) サドルが途中までしか上がらないときは、ジャッキオイルの不足が考えられますので、ジャッキオイルを適正な量まで補充してください。
- 6) 作業終了後は、オイルプラグを取り付けてください。マイナスドライバーなどで端の部分を押し込みながら、指で押さえると簡単に取付けることができます。



注意

- 火気のある場所、またはその近くでオイル補充および交換をしないでください。
- ジャッキオイルは指定されたもの以外は使用しないでください。エンジンオイルやその他のオイルは粘度が異なるため作動不良の原因になりますので絶対に使用しないでください。

純正ジャッキオイル No.366 オイルジャッキ専用作動油 (ISO VG10)

- ジャッキオイルを補充する際に、オイルタンク一杯にジャッキオイルを入れるとジャッキが作動しません。必ず適正量をお守りください。

■エア抜き

- 1) ジャッキを水平な場所へ垂直に立て、リリースバルブを緩めてください。
- 2) オイルプラグをプライヤーなどで取り外してください。
- 3) ポンプピストンをすばやく10回程度ポンピングしてください。この動作を行うことにより、パワーユニット内部に入っていたエアが抜けて正常に動作します。
- 4) オイルプラグを取り付けてください。マイナスドライバーなどで端の部分を押し込みながら、指で押さえると簡単に取付けることができます。

■オイルの強制循環

- 1) リリースバルブを緩めてください。
- 2) ジャッキを水平な場所へ垂直に立て、ジャッキ本体を固定させ、サドルをすばやく引き上げてください。
- 3) 2の動作を数回繰り返します。この動作を行うことにより、パワーユニット内のゴミが強制的にオイルタンク内に移動します。オイルタンクに設けられたゴミ除去ネットによりゴミが再びパワーユニット内に戻ることはありません。

製品仕様

改良のため、予告なく仕様変更する場合があります。予めご了承ください。

品番: No.1375
品名: オイルパンタグラフジャッキ
最大荷重: 1トン
最高位: 380mm
最低位: 140mm
揚幅: 240mm
ストップライン時の高さ: 327mm

本体サイズ: 370(L)X130(W)X140(H)mm
質量: 6.4kg (ハンドル含まず)
ハンドル長: 300mm
オイル量: 75cc
使用オイル: ISO VG10
使用環境: -10~+60℃
ハンドル操作力: 300N

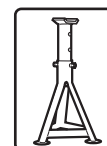
故障と処置

故障かなと思われる前にもう一度この取扱説明書をよくお読みいただき、下記の点検をしてください。点検を行っても状態に変化がない場合は、お買い上げの販売店または弊社へご相談ください。

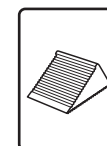


お問い合わせ先
06-6996-2631

関連商品 (別売)



キーパーマン
NO.920 (2t用) 最大荷重: 2トン
揚幅: 265~380mm
NO.921 (3t用) 最大荷重: 3トン
揚幅: 295~490mm



タイヤストッパー
NO.210
●ワイド設計 (幅100mm)
●すべりにくいゴム製
NO.2245